

はじめに（室崎益輝）	1
------------	---

第1部 復興計画の策定	3
-------------	---

第1章 帝都復興の展開	5
-------------	---

第1節 帝都復興計画の成立過程（吉川仁）	5
----------------------	---

1 震災前の東京	5
(1) 東京を取り巻く時代背景	5
(2) 後藤新平の東京市長就任	6
(3) 災害対策や復興技術の状況	7
2 帝都復興計画の成立過程	8
(1) 山本内閣の成立（～9月2日）	8
(2) 帝都復興詔書の発布と第1回帝都復興審議会（～9月21日）	8
(3) 帝都復興院の発足と帝都復興計画大綱の決定（～10月27日）	9
(4) 参与会と評議会の開催、予算枠が定まる（～11月21日）	12
(5) 第2回帝都復興審議会と伊東巳代治の反対（～11月27日）	13
(6) 第47議会への提案と事業費の削減（～12月26日）	14
(7) 復興局への移行、特別都市計画委員会での計画策定（12月27日～）	15
(8) 東京市の復興計画への動き	16
(9) 帝都復興計画の変遷過程	17

第2節 横浜市の復興過程（吉川仁）	18
-------------------	----

1 震災前の横浜	18
(1) 港湾都市横浜を巡る状況	18
(2) 都市計画と社会事業の展開	19
2 横浜市の都市復興計画の策定過程	20
(1) 復興への初動と「横浜復興会」の設立（～9月19日）	20
(2) 牧彦七の計画案と復興会案（～11月20日）	20
(3) 横浜市の復興計画の確定（12月～）	22

第3節 帝都復興事業がもたらした都市空間（吉川仁、田中傑）	23
-------------------------------	----

1 帝都復興事業のあらまし	23
---------------	----

(1) 土地区画整理事業と街路整備.....	24
(2) 河川・運河、橋梁、地下埋設、上下水道等.....	27
(3) 公園、学校、社会事業施設、市場.....	30
(4) 地域地区・復興建築.....	35
2 帝都復興外の動き.....	36
(1) 高速鉄道と港湾.....	36
(2) 住宅、大学、復興建築.....	37

## 第2章 県下の住まい・生活・産業の復興 40

第1節 神奈川県下の復興（吉川仁）.....	40
1 県の動きと復興促進会の大要.....	40
(1) 県や町村の活動.....	40
(2) 神奈川県下の道路の拡幅.....	41
(3) 復興促進会の発生と活動状況.....	41
2 県下各地の復興活動.....	43
(1) 横浜市復興会（都市計画部会以外の活動）.....	43
(2) 横須賀市の復興～都市計画への展開.....	43
(3) 小田原町の復興～産業振興と道路拡幅.....	46
(4) 鎌倉町の復興～建築材料の自力手配と役場・学校・社寺の復旧.....	47
(5) 川崎町などの復興～合併の促進と工場の進出.....	49
(6) 箱根町の復興～道路の復旧.....	49
第2節 千葉県下の復興（吉川仁）.....	50
1 千葉県の対応.....	50
2 安房郡の復興.....	51
第3節 静岡県・埼玉県の復興（吉川仁）.....	52
1 静岡県の復旧復興.....	52
2 埼玉県の復興.....	53

**第2部 復興事業の展開** **55**

**第1章 被災者の生活再建過程と復興都市計画の関連** **57**

**第1節 被災市街地の状況と応急施設の整備（真野洋介）** **57**

1	震災直後～2か月の状況	57
(1)	被災状況と直後の避難行動	57
(2)	避難所の設置	59
(3)	集団バラック（応急仮設住宅）の建設	59
(4)	公設市場の設置	61
(5)	鉄道の復旧と無料乗車の実施	61
(6)	隣接地域への避難の動き	62
2	震災後2か月～半年の状況	63
(1)	仮設による社会事業施設の整備	63
(2)	2つの震災義捐金の配分計画	63
(3)	各施設の設置	65
(4)	住民の避難行動	66
3	既成市街地の住環境悪化	68
(1)	不良住宅地区における被災状況とスラムの再形成	68
(2)	震災後の不良住宅地区調査	69

**第2節 応急施設の撤収と公的主体による代替住宅の建設（真野洋介）** **70**

1	集団バラックの整理・撤去計画	70
2	震災義捐金による小住宅の建設	70
(1)	東京市による小住宅の建設計画	70
(2)	東京府による小住宅の建設計画	71
3	同潤会の設立	72
(1)	同潤会による仮住宅の建設計画	72
(2)	バラックの撤去と避難民の移転	73
(3)	要救助者収容所の設置	74
4	まとめ	74

**第3節 罹災地域における自力建設バラックとバラック市街地（田中傑）** **75**

1	法的な位置づけ	75
2	バラックとバラック市街地	76
3	既得権化とその後のバラック制限への影響	77

<b>第4節</b>	<b>周縁部へのスプロールと計画的市街地の形成（真野洋介）</b>	<b>78</b>
1	郊外地域への4つの計画的アプローチ	78
	(1) 郊外の街路網計画	78
	(2) 鉄道網の整備と耕地整理・区画整理による基盤整備	80
	(3) 郊外地域における建築線指定	83
	(4) 住宅供給によるアプローチ	84
2	被災者の郊外地域への移動とスプロール市街地の形成	84
3	残された課題	86
<b>第5節</b>	<b>エリアスタディ（田中傑）</b>	<b>88</b>
1	万世橋エリア	89
	(1) エリアの概要と震災前の状況	89
	(2) 復興計画の方針と復興事業の実施	89
	(3) 市街地の改善状況	90
	(4) 残された課題	90
2	堀留町エリア	91
	(1) エリアの概要と震災前の状況	91
	(2) 復興計画の方針と復興事業の実施	91
	(3) 市街地の改善状況	91
	(4) 残された課題	93
3	御徒町エリア	93
	(1) エリアの概要と震災前の状況	93
	(2) 復興計画の方針と復興事業の実施	93
	(3) 市街地の改善状況	94
	(4) 復興プロセスと地域コミュニティ	95
	(5) 残された課題	96
4	元町エリア	96
	(1) エリアの概要と震災前の状況	96
	(2) 復興計画の方針と復興事業の実施	97
	(3) 市街地の改善状況	97
	(4) 残された課題	98
<b>第6節</b>	<b>主体別スタディ（田中傑）</b>	<b>98</b>
1	官庁	98
	(1) 内務省（行政機関庁舎、麴町区）	98
	(2) 警視庁（治安機関庁舎、麴町区）	99
2	店舗、商店	100
	(1) 松坂屋（百貨店、下谷区）	100

(2) 市田商店（繊維問屋、日本橋区）	101
(3) 吉野藤（繊維問屋、日本橋区）	102
3 学校	103
(1) 開成中学校（神田区）	103
4 特殊建築物	104
(1) 歌舞伎座（興行施設、京橋区）	104
(2) 福仙旅館（宿泊施設、下谷区）	104
5 その他	105
(1) 築地本願寺（寺院、京橋区）	105
コラム1 「因習」から遠く離れて—今和次郎とバラック装飾社—（鈴木貴宇）	108
コラム2 「復興建築助成株式会社」と「共同建築」（栢木まどか）	110
コラム3 被服廠跡—震災記念堂と復興記念館—（川西崇行）	112

## 第2章 産業と経済の復興 114

第1節 工場被害と復興（富樫光隆）	114
1 東京市部における工場被害と復興	115
2 紡績、羊毛工場での被害、復旧	117
(1) 紡績業	117
(2) 羊毛工業	119
3 工場被害の価格面への影響	119
(1) 綿糸	119
(2) 羅紗	120
4 震災後の復興（工場の移転、新規立地）	120
(1) 現在の北区と周辺部	120
(2) 現在の江東区と周辺部	120
(3) 現在の大田区周辺	121
5 インフラの復旧、整備	122
(1) 電力供給の例	122
(2) 鉄道網の整備	123
第2節 金融・保険（長瀬毅、寺西重郎）	124
1 金融業界における震災被害と復旧	124
(1) 金融部門の震災被害	124
(2) 震災被害への対応と復旧、そのための資金調達	128
2 復興資金の調達状況と諸問題	141
(1) 政府予算	141

(2) 震災手形処理問題と金融恐慌の発生 .....	150
コラム4 市域の拡張（富樫光隆） .....	160
コラム5 民間企業の被災と復興―鹿島組の例―（武村雅之） .....	161
コラム6 井上準之助の思想（寺西重郎） .....	165

### 第3章 生活と文化の復興 168

第1節 「大東京」への変貌―「社会」という領域に焦点をあてて（佐藤健二） .....	168
1 「大東京」という新しいことば .....	168
第2節 地域生活基礎集団の組織化―自治体行政と自治組織としての町内会（佐藤健二） .....	170
1 課題としての自治 .....	170
2 町内会調査から見えてくるもの .....	171
3 事業内容と設立契機 .....	174
第3節 まとめて代えて―「ラジオ」と「天譴論」という補助線（佐藤健二） .....	181
コラム7 神社建築の不燃耐震化への挑戦―神田神社の事例―（清水祥彦） .....	186
コラム8 地震研究所の創設（伊藤和明） .....	187
コラム9 東京朝日新聞社と市民公德運動（佐藤愛果） .....	188
コラム10 著名人が振り返る関東大震災（佐藤愛果） .....	191
コラム11 悲しみの群像（佐藤愛果、吉川仁） .....	194
コラム12 「復興節」ところの復興（吉川仁） .....	197

### おわりに―関東大震災の復興対応における教訓―（室崎益輝） 199

### 資料編 202

参考文献一覧 .....	202
--------------	-----